全国浴場新聞

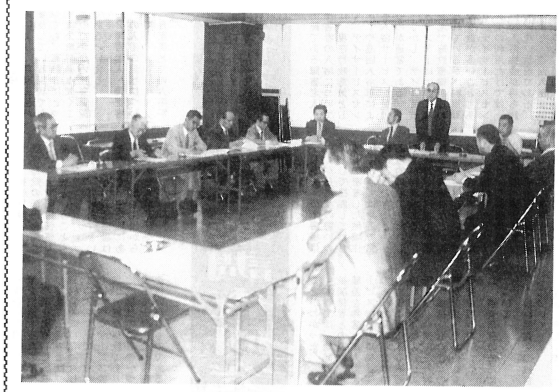
発行所
全国公衆浴場業環境衛生同業組合連合会
東京都千代田区東神田１－10－２
TEL 03(5687)2635
購読料　１部100円

谷竹錠
品川区大井
TEL(3771)7477・9687
工場(3781)5472
(3782)9189

# 全浴連理事会開く

## 事業のより効率的促進へ

## 明確な方針の確立期す



全浴連（小島正二理事長）は、六月に行われた北海道における通常総会の質疑をふまえ、全浴連機構・賦課金、生命・火災共済事務委託、生命・六年度予算要求、この他全浴連配当金、浴場のビジョン、会議日程などについて活発な意見交換した。

水島理事長の挨拶のあと全浴連機構に関し、きびしい経営環境への運動など事業の遂行をより効率的に進めるための執行体制について協議し、未端組合員も資格に理解できるよう体制づくりが必要などと活発な意見が出され、賦課金の徴収もあって地域実情にいわれたランクがつけられていたが、機構改革に伴う各組合員の意識の問題であり、業界の活性化の一翼であり、業界の活性化の一翼であり、業界の活性化の一翼

# 福祉入浴事業調査研究報告書

## ふれあいせんとう①

### Ⅰ　調査研究の背景

#### 一　国民の健康と公衆浴場について

日本人の入浴行為は高温多湿という気候風土の中で、入浴することが生活習慣であり、入浴は体を清潔にたち、不潔から起きる疾病などを予防するという衛生面からだけでなく、温熱による血液循環や神経機能への影響など様々な効果があるとされ、入浴行為は国民の健康と保健を

# ニューよくさん

山本貴夫

# 相続税の失敗 その二

岡嶋武夫

人間は、物を考える場合、どうしても自分流に考えがちである。

同じ条文を解釈する場合であっても、やはり自分有利に解釈しがちである。

贈与税の基礎控除は年間六十万円であることは皆承知している。

だから、相続対策として、あらかじめ子供達に現金を贈与しておいて、相続税の負担を軽くしようとすることは誰しも考えることである。

そこで、六十万円づつ子供達の名義で定期預金にしておいた、届け出同一のものである。

六十万円以下は基礎控除を差引けば税金となるので贈与税の申告はしなかった。

子供達は自分の名義で定期預金にしていてくれたとは知らない。もちろん証書は親が一括して保管している。

利払いの時、たまには小遣いがほしいので、一部親の普通預金に入金した時もあった。

親の意識としては、子供達に贈与したとしても、証書を引渡しただけではなく、自分が子供達の名義を使って預金しているので、自分の資金として使えるし、相続開始がおそいという時は自分の資金として使うし、相続税の負担にも、資金の一部として使えるという、いわば和戦両用の構えであった。

そのため、時としては利息や元金の一部を自分の用途に使ったこともあった。

そんな矢先、税務調査があり、この預金が問題となった。

贈与として認められるには、一、贈与を受けた子供達がこの預金の存在を知っていること、二、証書の管理は完全に子供達がしていること、三、届出はずっと以前にされていること、四、贈与後の資金については、子供達の自由意志であること、この四点が必要である。

この五点が満たしていれば認められると思う。

税務調査は、すべて証拠に基づいて行なわれ、毎年六十万円を贈与していても、税務署は何に対しても、即ち親の名義に直すことはできないのである。

もし、六十五万円を贈与しようと、六十万円基礎控除し、五万円に対しての税金の五千円を払っていれば、申告書が先方に提出されているので、証拠は税務署に残っていることになる。

六十万円づつ贈与したつもりでも、五千円のこと一回一回の積み重ねが、どうしても認められなかったのである。

贈与として認められるには、一、贈与を受けた子供達がこの預金の存在を知っていること、二、証書の管理は完全に子供達がしていること、三、届出はずっと以前にされていること、四、贈与後の資金については、子供達の自由意志であること、この四点が必要である。

この五点が満たしていれば認められると思う。

税務調査は、すべて証拠に基づいて行なわれ、毎年六十万円を贈与していても、税務署は何に対しても、即ち親の名義に直すことはできないのである。

もし、六十五万円を贈与しようと、六十万円基礎控除し、五万円に対しての税金の五千円を払っていれば、申告書が先方に提出されているので、証拠は税務署に残っていることになる。

六十万円づつ贈与したつもりでも、五千円のこと一回一回の積み重ねが、どうしても認められなかったのである。

そこで、六十万円づつ子供達の名義で定期預金にしておいた、届け出同一のものである。

六十万円以下は基礎控除を差引けば税金となるので贈与税の申告はしなかった。

子供達は自分の名義で定期預金にしていてくれたとは知らない。もちろん証書は親が一括して保管している。

利払いの時、たまには小遣いがほしいので、一部親の普通預金に入金した時もあった。

親の意識としては、子供達に贈与したとしても、証書を引渡しただけではなく、自分が子供達の名義を使って預金しているので、自分の資金として使えるし、相続開始がおそいという時は自分の資金として使うし、相続税の負担にも、資金の一部として使えるという、いわば和戦両用の構えであった。

そのため、時としては利息や元金の一部を自分の用途に使ったこともあった。

そんな矢先、税務調査があり、この預金が問題となった。

贈与として認められるには、一、贈与を受けた子供達がこの預金の存在を知っていること、二、証書の管理は完全に子供達がしていること、三、届出はずっと以前にされていること、四、贈与後の資金については、子供達の自由意志であること、この四点が必要である。

この五点が満たしていれば認められると思う。

税務調査は、すべて証拠に基づいて行なわれ、毎年六十万円を贈与していても、税務署は何に対しても、即ち親の名義に直すことはできないのである。

もし、六十五万円を贈与しようと、六十万円基礎控除し、五万円に対しての税金の五千円を払っていれば、申告書が先方に提出されているので、証拠は税務署に残っていることになる。

六十万円づつ贈与したつもりでも、五千円のこと一回一回の積み重ねが、どうしても認められなかったのである。

贈与として認められるには、一、贈与を受けた子供達がこの預金の存在を知っていること、二、証書の管理は完全に子供達がしていること、三、届出はずっと以前にされていること、四、贈与後の資金については、子供達の自由意志であること、この四点が必要である。

この五点が満たしていれば認められると思う。

税務調査は、すべて証拠に基づいて行なわれ、毎年六十万円を贈与していても、税務署は何に対しても、即ち親の名義に直すことはできないのである。

もし、六十五万円を贈与しようと、六十万円基礎控除し、五万円に対しての税金の五千円を払っていれば、申告書が先方に提出されているので、証拠は税務署に残っていることになる。

六十万円づつ贈与したつもりでも、五千円のこと一回一回の積み重ねが、どうしても認められなかったのである。

そこで、六十万円づつ子供達の名義で定期預金にしておいた、届け出同一のものである。

六十万円以下は基礎控除を差引けば税金となるので贈与税の申告はしなかった。

子供達は自分の名義で定期預金にしていてくれたとは知らない。もちろん証書は親が一括して保管している。

利払いの時、たまには小遣いがほしいので、一部親の普通預金に入金した時もあった。

親の意識としては、子供達に贈与したとしても、証書を引渡しただけではなく、自分が子供達の名義を使って預金しているので、自分の資金として使えるし、相続開始がおそいという時は自分の資金として使うし、相続税の負担にも、資金の一部として使えるという、いわば和戦両用の構えであった。

そのため、時としては利息や元金の一部を自分の用途に使ったこともあった。

そんな矢先、税務調査があり、この預金が問題となった

# 浴場余話

大原十六

## 風呂嫌いの菊池寛

江戸川柳に
ちょんの間八手ぬぐいをぬ
ぐ

菊池寛は一高（第一高等学校）での最も親密な友、佐野文二の家の跡を継ぐかたちで帰り、一高を退学させられた。一高の同級生成瀬正一（菊池の妻）の家に寄宿した。

江戸時代の商家の手代・番頭は、みな住込みの勤めの身であるから、遊びに出かけるのにも許しを要した。苦肉の策として彼らのしばし用いたのが、銭湯へゆくふりをして出かける手であった。菊池はのちには如何にも風呂へ入っていたになし、手拭だけ濡らして戻るのである。

### 森鷗外の入浴

森鷗外。陸軍軍医総監、帝室博物館長。また、日清・日露戦争の従軍作家。

林太郎。小説家、戯曲家、評論家。医学博士、文学博士。

明治文壇の重鎮。主なる著作は『即興詩人』（一八九二年）、『舞姫』（一八九〇年）、『うたかたの記』（一八九〇年）、『ヰタ・セクスアリス』（一九一三年）など。

鷗外は『即興詩人』の舞台となったイタリアを訪れ、ローマ、ナポリ、ベニスなどを巡った。

帰国後、陸軍軍医学校長、陸軍軍医総監、帝室博物館長などを歴任。

鷗外は、陸軍軍医学校長官舎に住んでいた。

官舎には、浴室はなく、風呂は、庭の一隅に据えられていた。

鷗外は、毎日、ここで入浴していた。

### 菊池寛の入浴

菊池寛は、芥川（竜之介）、久米（正雄）とともに、大正文壇の三羽ガラスと呼ばれた。

菊池寛は、大正末期から昭和初期にかけて、文藝春秋社を興し、『文藝春秋』を発刊した。

菊池寛は、大の風呂嫌いであった。

菊池寛は、風呂に入ることはほとんどなかった。

菊池寛は、風呂に入ることはほとんどなかった。

菊池寛は、風呂に入ることはほとんどなか